

2008年3月期

決算説明会資料

黒田電気株式会社

取締役 代表執行役社長

金子 孝

黒田電気とは

当社の競争力

他社との差別化ポイント

約2000社の豊富な仕入先を持ち、メーカー機能を持った独立系商社
12カ国55拠点におよぶグローバル拠点展開によって、きめ細やかな
顧客密着型のフォローアップ体制が特長
細かなビジネスが多いが、先行して着実な成果を出す機動性

経営方針

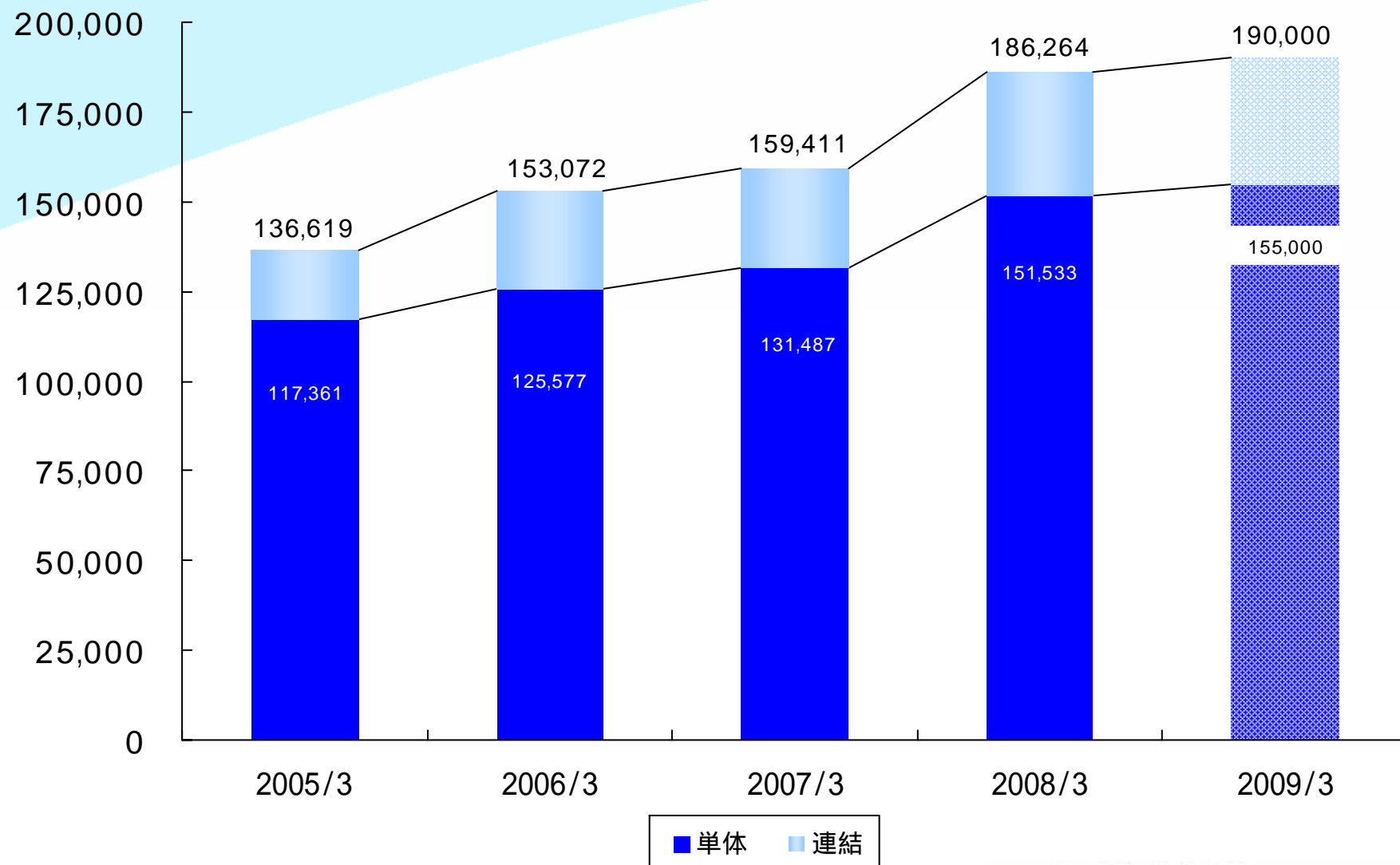
取引先企業が必要としているサービスを間断なく、適時、的確に提供する
ことにより、世界のエレクトロニクス業界の発展に貢献するとともに、
社会に貢献する企業、信頼される企業を目指し、企業価値を高めていく。
これらの実現によって、従業員や取引先・株主様など、当社を取り巻く
ステークホルダー全体の満足度を高めていく。

長期的なポテンシャル

エレクトロニクス業界を中心に、情報通信／自動車／フラットパネル
ディスプレイ分野を重点戦略分野に据え、グローバルに経営資源（ヒト
／モノ／カネ）を積極的に投入し、継続的な売上と利益を創出する。
2011年3月期までに、売上高2000億円、営業利益100億円を達成する。

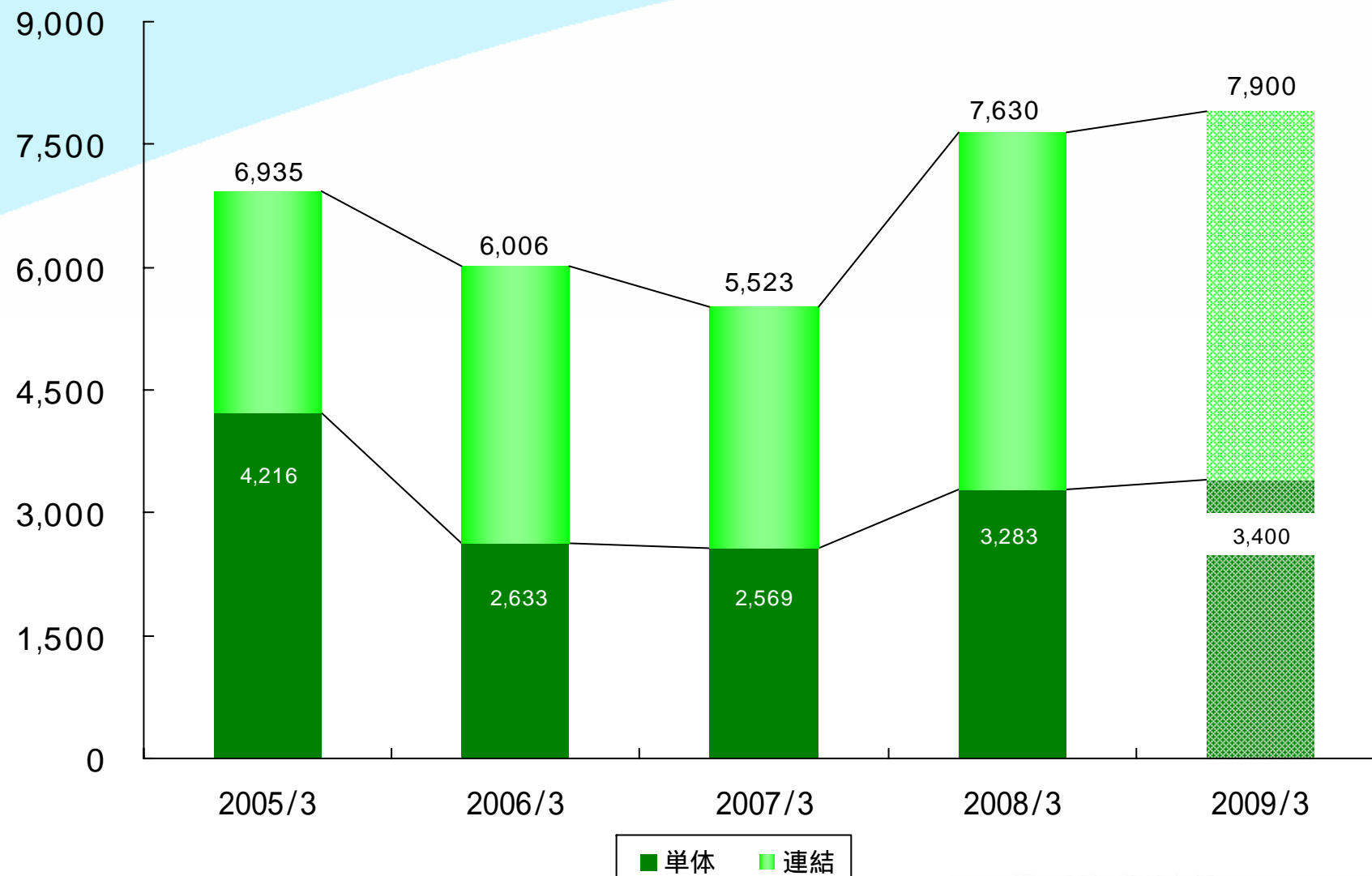
連結売上高推移

単位：百万円



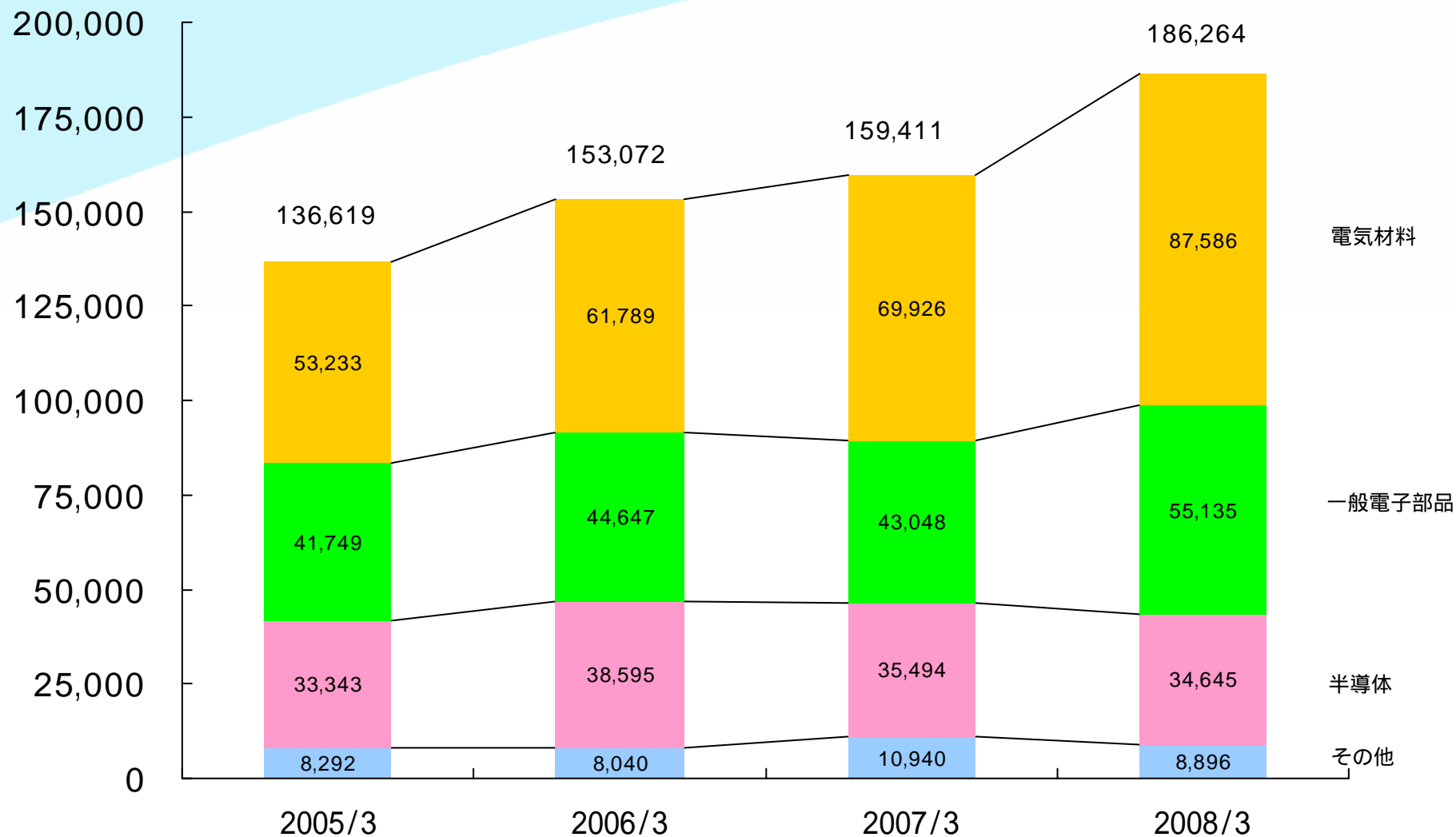
連結営業利益推移

単位：百万円

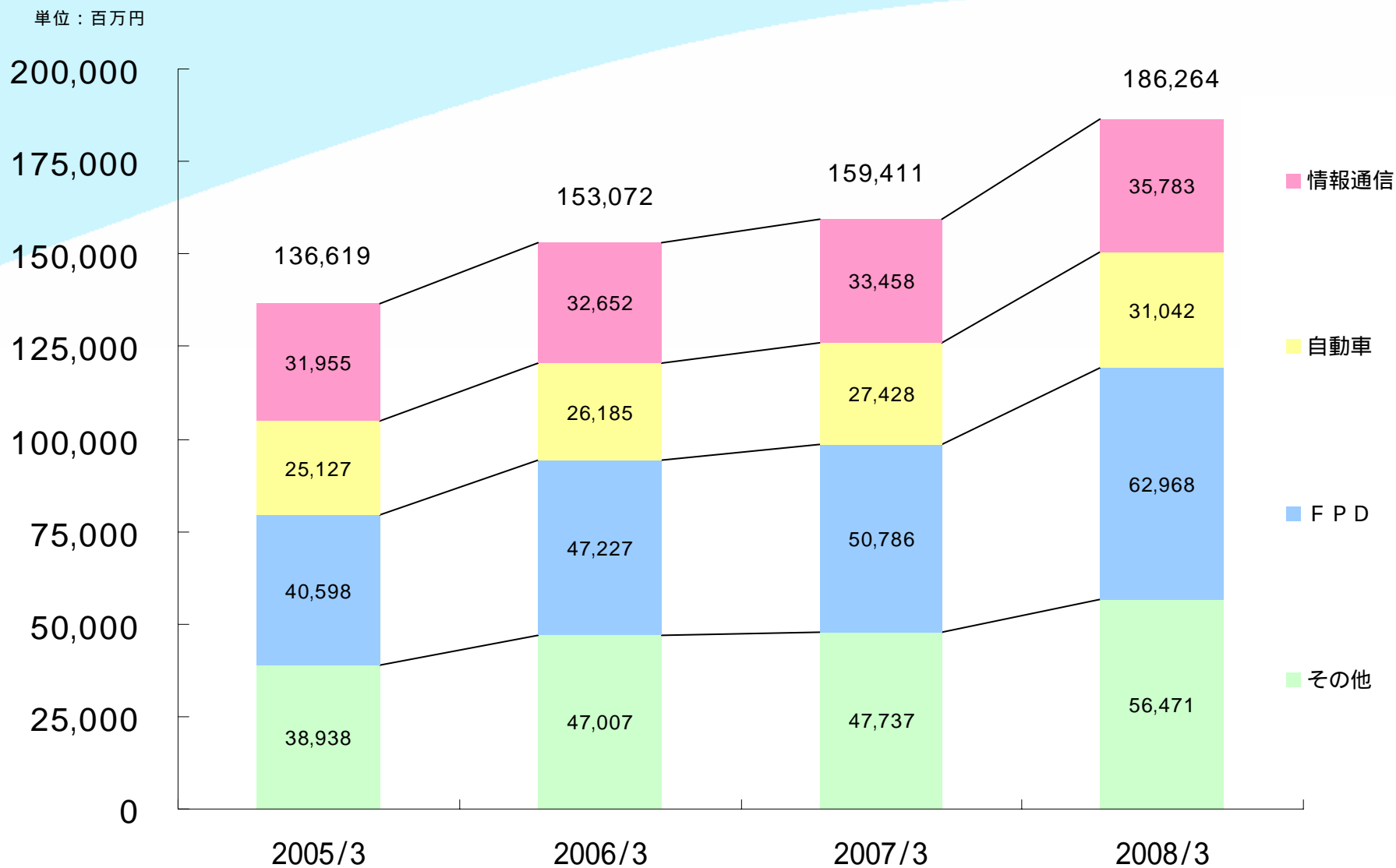


商品別 売上高推移（連結）

単位：百万円

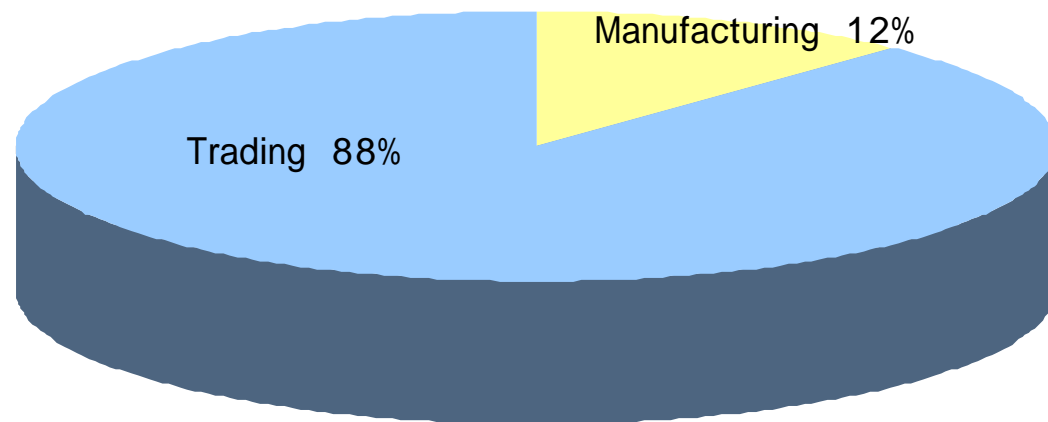


重点戦略分野 売上高推移



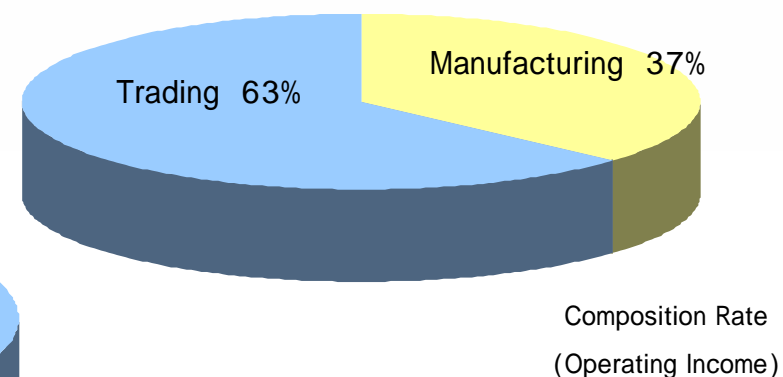
商社：製造比率

売上比率



Composition Rate
(Net Sales)

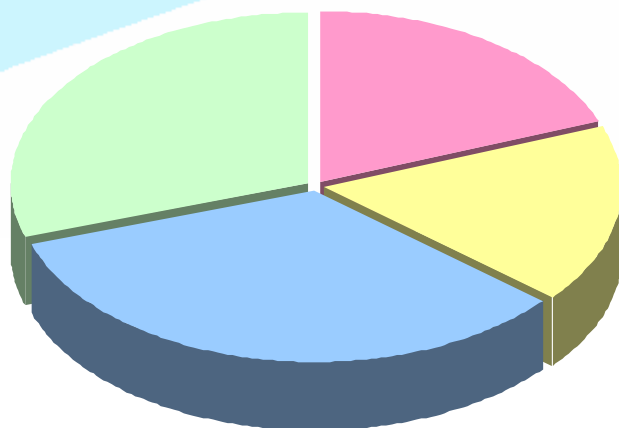
営業利益比率



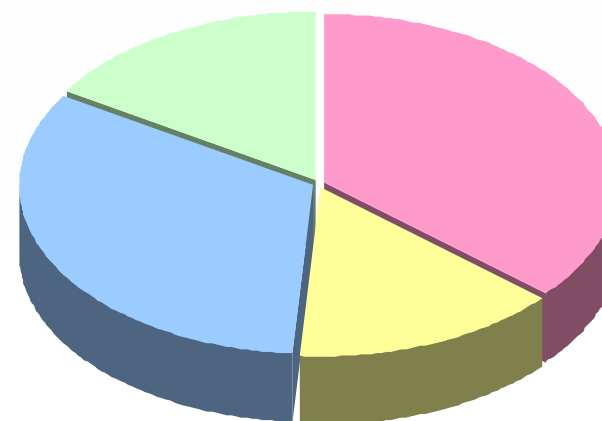
Composition Rate
(Operating Income)

重点戦略分野

売上比率



営業利益比率



2008年3月期

占有率

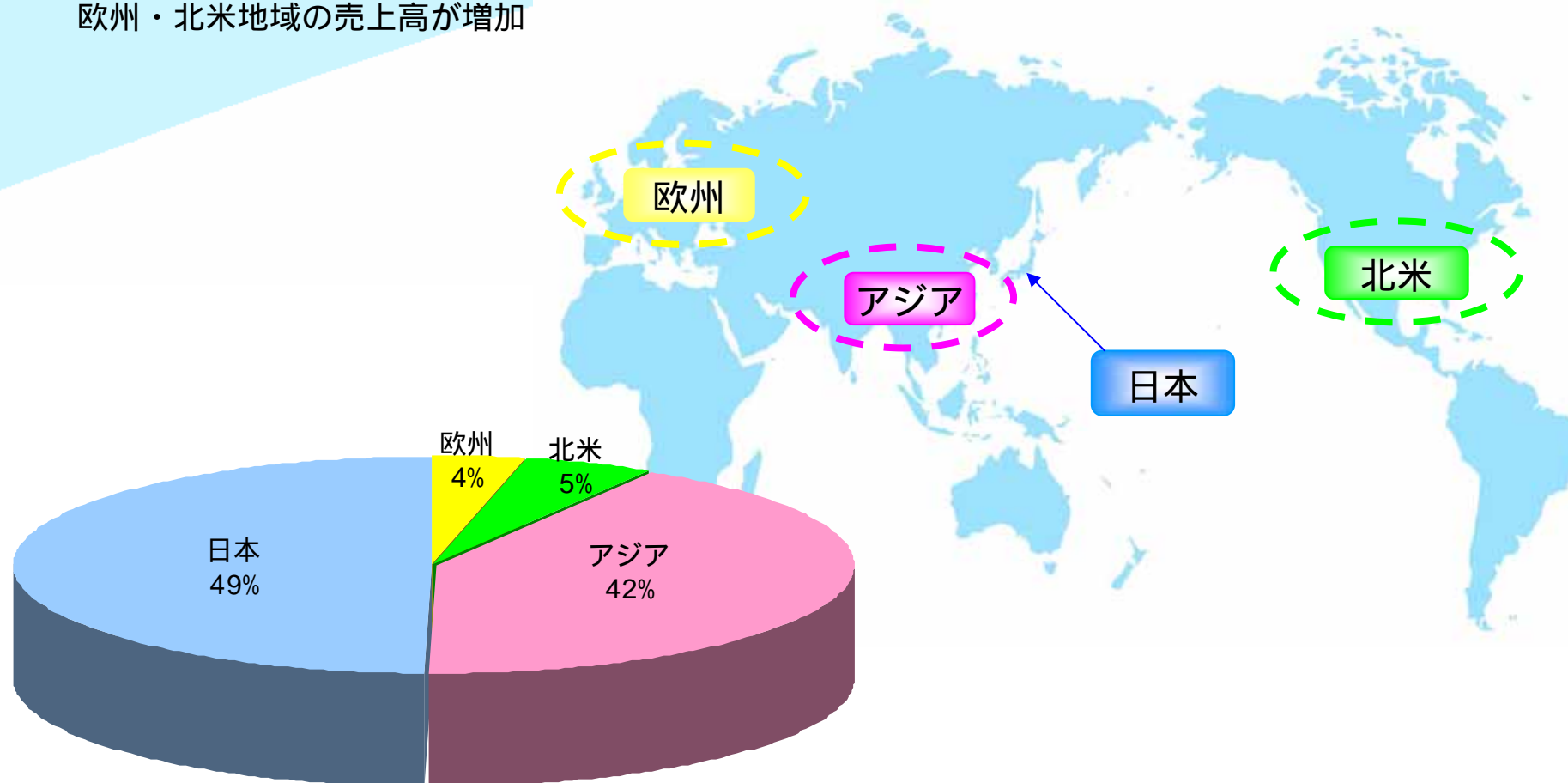
売上高

営業利益

占有率	売上高	営業利益
情報通信	19.2%	36.2%
自動車	16.7%	14.3%
F P D	33.8%	32.3%
その他	30.3%	17.3%

海外売上高占有率

欧州・北米地域の売上高が増加



直近の事業投資

時期	項目	内容
2006.9	HDD Thaiメッキ工場	本格稼動により新規HDD顧客層が拡大
2007.6	アメリカ（サンディエゴ）へ販売拠点開設	北米向け液晶関連ビジネスの物流拠点
2007.8	ホーランド（トルン）へ販売拠点開設	欧州向け液晶関連ビジネスの物流拠点
2007.9	成田エキスポートセンター稼動	空輸（成田・関西）／海上（東京）貨物の集約拠点を構築 輸出費用の圧縮＋情報網構築
2007.10	Cosmo Kuroda Electric s.r.o.設立	FPD市場向け欧州製造子会社を設立 コスモテック＋当社の共同出資会社・2008年7月稼動
2007.12	アメリカ（テネシー）へ販売拠点開設	北米向け自動車関連ビジネスの販売拠点
2008.1	中国（シンセン）へ販売拠点開設	中国華南地域へのフォロー体制拡充（RMB取引）
2008.3	ソーワコーホレーションM&A	基板のパターン設計（アートワーク）専門会社をM&A デジタル家電業界に強み 川上から川下へ相乗効果
2008.4	コムラテック増資引受け	第三者割当増資により資本金2000万 1億円へ
2008.5	ベトナム（ハノイ）現地法人化	OA関連を中心とした販売拠点 法人設立許可

中期経営方針と目標

2008年4月期 2011年3月期

基本方針

グローバルな商社機能と高付加価値なもの作り体制を充実し
売上高2000億円・営業利益100億円を目指す

1. グローバル戦略

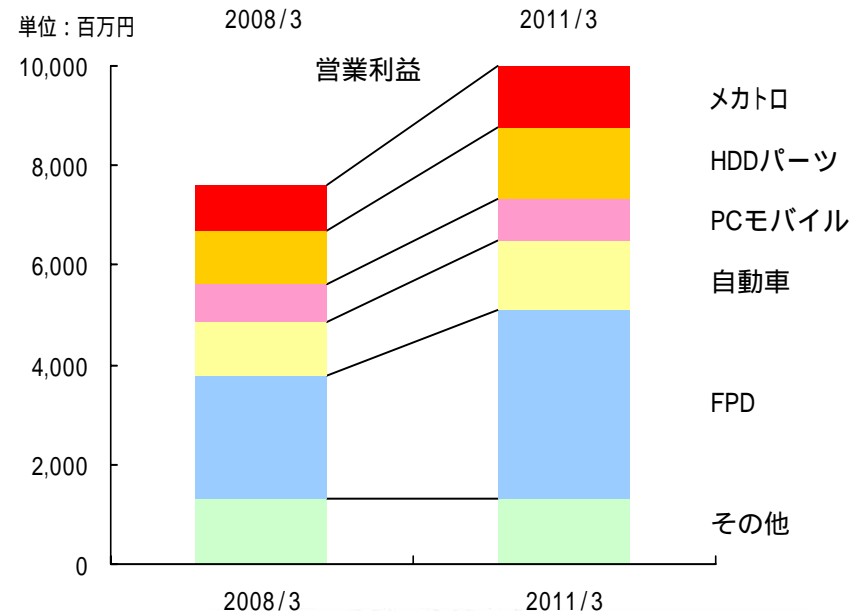
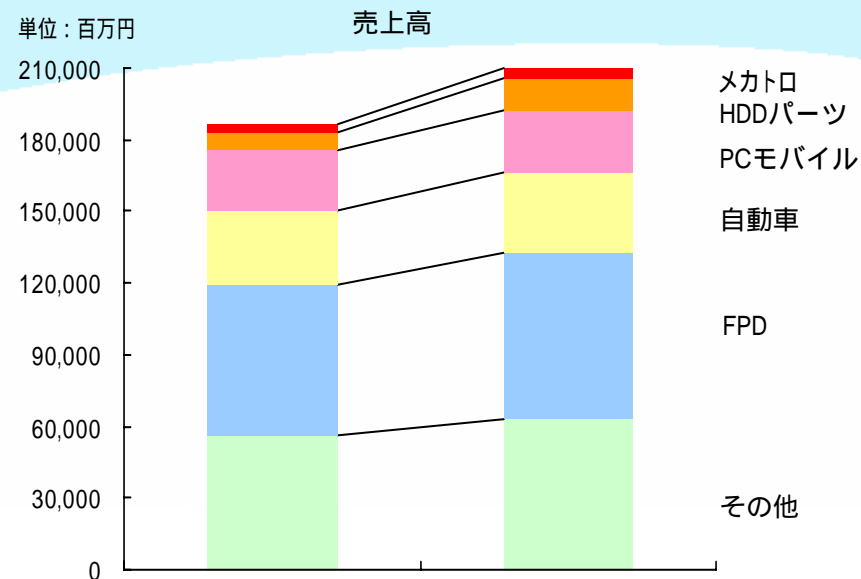
- ・勝ち組企業、成長分野へ経営資源を集中する。
- ・グローバルに攻めの姿勢で事業展開する。
- ・新ビジネスモデルを構築する。

2. 高付加価値の創造

「もの作り」「商社機能」において、迅速且つ高品質なサービスと製品の市場投入を行い、世界のエレクトロニクス業界発展に寄与する。

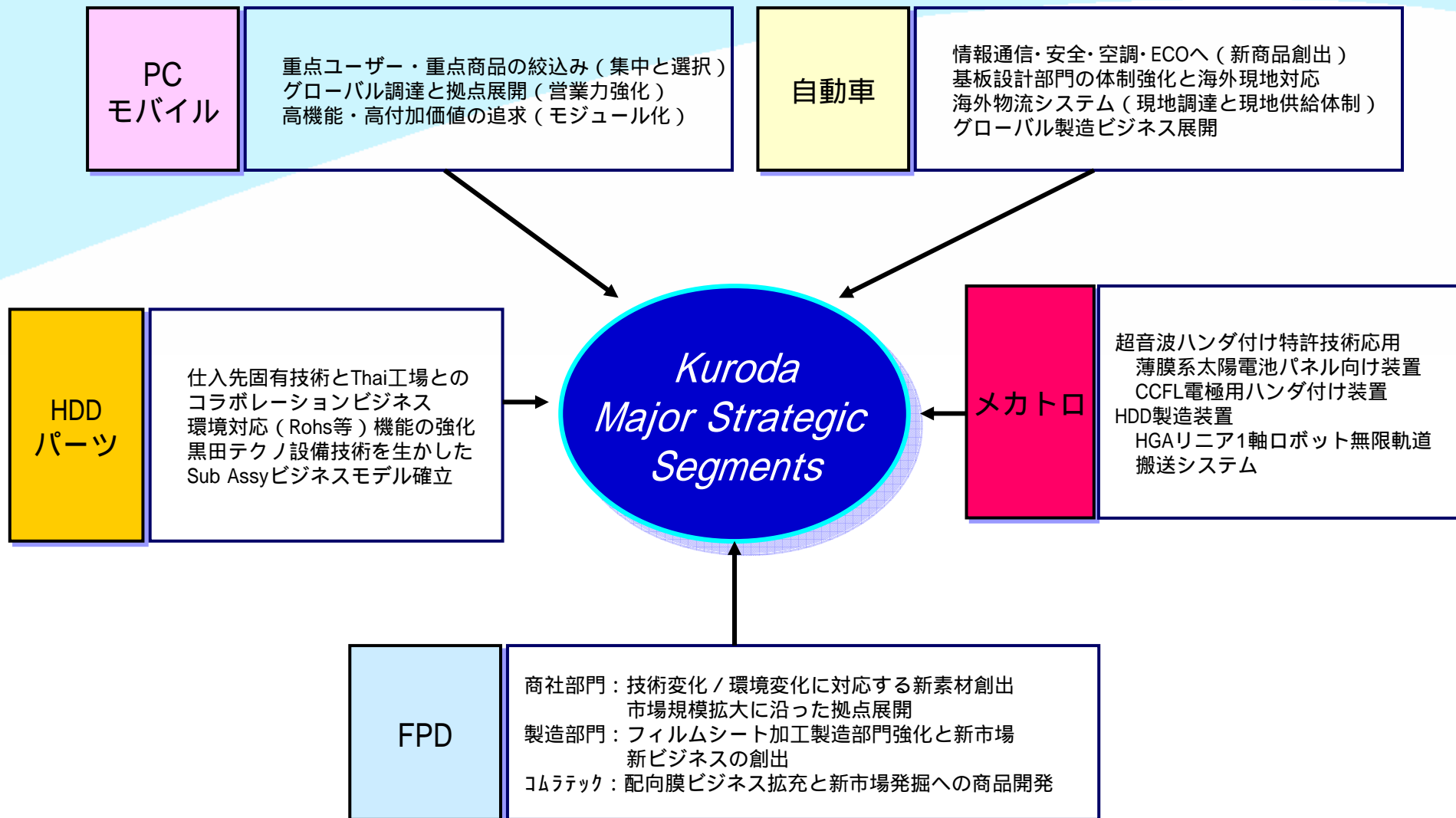
3. CSRの実践

環境活動への参加や環境関連ビジネスの推進を高め、CSRへの取組みを積極的に推進し、企業価値を高め、社会に貢献する企業を目指す。



重点戦略分野

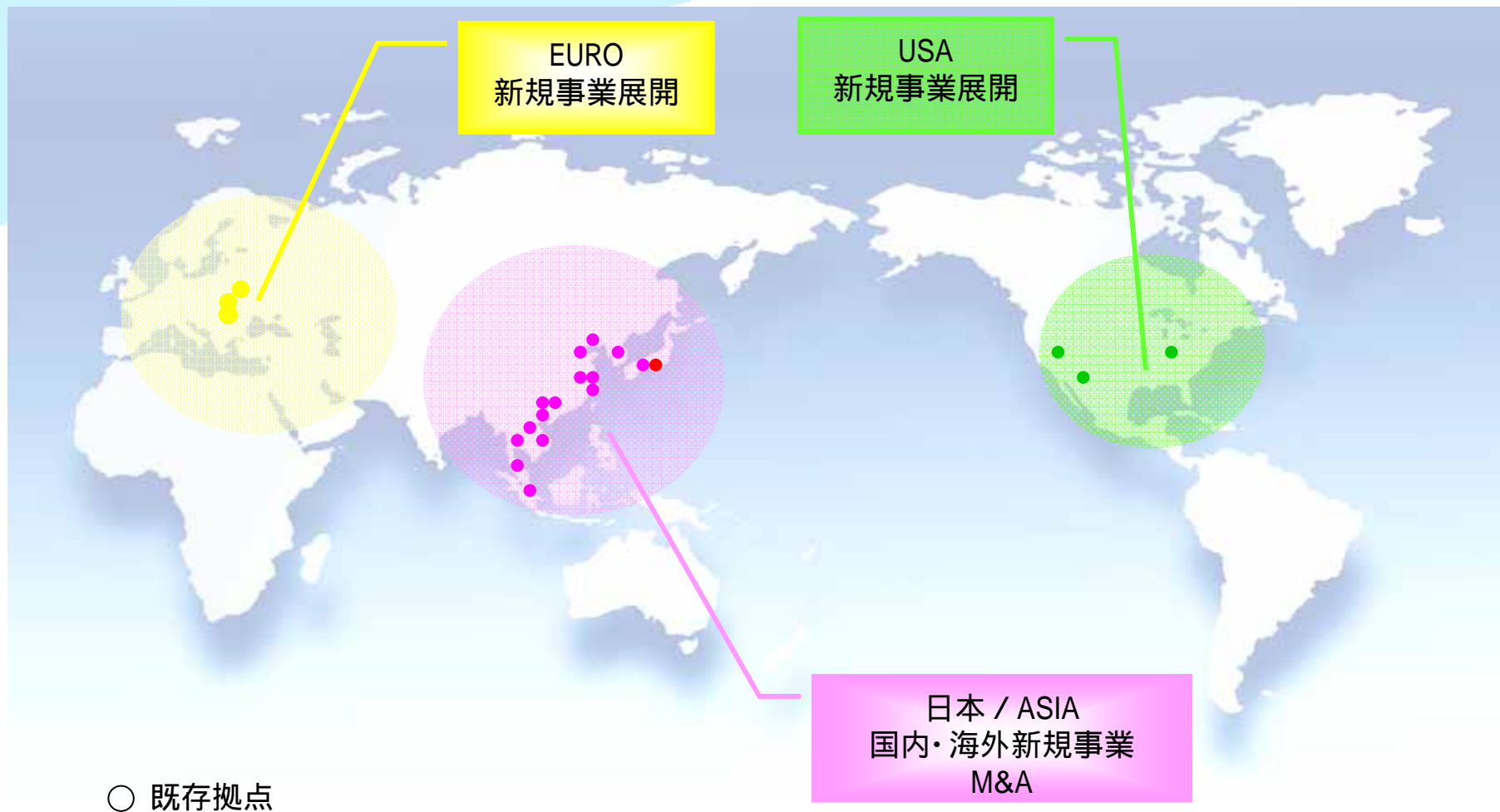
2008年4月期 2011年3月期



地域戦略

2008年4月期 2011年3月期

日本 / ASIA / EURO / USAの各地域へ更なる拠点拡大と新事業を展開



企業体質強化

2008年4月期 2011年3月期

財務体質の強化

1. グローバル投資による事業拡大、運転資本増加に対応するグローバルな資金調達
2. キャッシュフロー重視の徹底
3. 株主重視の企業価値経営推進

配当政策

株主の収益性と会社の事業拡大・財務体質の強化を総合的に考慮し、長期的視野に立った安定的な成果配分を継続

ROE Target 15%



ビジネスシーン要求事項

省エネルギー
創エネルギー
RoHS規制
ISO14001
低Co2
高効率
低消費
不燃ガス
高燃費
太陽光発電
高品質
環境貢献

....etc

ナノハイブリッドカプセル
(NHC2)

ISO9001
SGSグローバル認定

薄膜太陽電池パネル
超音波ハンダ付け装置

当社取扱い商品
RoHS完全保証体制確立

商品キーワード
値段→省エネ優先へ



みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%

CSR / 環境とビジネス

1. 環境貢献型企業への変化
2. さまざまなビジネスシーンで要求される
「環境対応」を当社独自のビジネス戦略へ

人材（人財）育成

1. グローバル人材の採用と育成
2. ビジネスモデルを造り出せる人材の育成
3. 教育センター開設



中期経営ビジョン

2008年4月期 2011年3月期

- *PC・Mobile*
- *HDD*
- *Automobile*
- *Flat Panel Display*
- *Mechatronics*

財務体質強化

人材育成

環境・CSR

Global Supply company



KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

- 信頼される商社機能
- もの作りプロセスの拡充

戦略的投資

国際調達機能

物流戦略



End of File